

NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (☎080-4540-3553)

## 1月の「どんぐりsカフェ」から 高齢者の運転、多方面から意見交換

1月21日の「どんぐりsカフェ」は、「高齢ドライバーと交通安全対策」をテーマに春日井市交通安全対策課職員から話を聞いた＝写真。

春日井市の交通事故死は平成27年度の9人から平成28年度は4人（高齢者はなし）と減少しているが、引き続き“思いやり運転”の徹底に努めるとして、一旦停止、夜間運転の際の照明灯の使い方などの安全運転技術の話、高齢者の免許返上とその後のシティバスの半額免除の紹介などがあった。参加者との意見交換の中では、運転技術の悩みや運転マナーの悪さの問題、免

どんぐりsから

●3月10日（金・13:30～）東部ほっとステーションで「共同相談会」（仮称）が開催される。これは加盟団体の得意分野を持ち寄ることで、さまざまな困りごと相談に答えようという新たな試みで、「どんぐりs」のすまい相談件数の伸び悩みの解消のきっかけになればと期待している。

●昨年10月の「どんぐりsカフェ」で「女性とまちづくり」をテーマに話をいただいたことがきっかけとなり、今「野の花」（飯田氏主宰）と「女性100人委員会」との連携の話が進んでいる（詳しくは本号別稿を参照願いたい）。また、高森台の「うたごえサロン」（山田氏主宰）の連携やコープあいち高蔵寺支店（浜田氏）との協力関係を確認する話もあった。

●先月、「どんぐりs」は新しい状況での活動を模索している」と書いたが、こうした連携を強めることが活動の幅を広げることにもなり、新たな可能性を生み出すことにつながるのではないかと考えている。（藤城 栄一



許返上後の足の問題など多岐にわたる意見があった。また、高森台在住の山東氏から、ご自身が主宰しているカーシェアサークル「かぼちゃの馬車」（会員100人）の活動紹介があり、参加者から賛同の声が寄せられた。（藤城 栄一）

### 2月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：春日井市の子育て支援の現状について  
講師：奥村和幸氏（春日井市青少年子ども部子ども政策課職員）

日時：2月18日（土）、13.30-16.00  
会場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館1階） 参加費：無料。

### 高齢者・すまい・くらし面接相談

●まずはお電話ください：  
080-4540-3553（どんぐりS事務局）  
面接相談会日時：2月12日（日）、26日（日）  
ともに13:30～16:00  
会場：東部ほっとステーション

### 2月の「大人のたまり場」

●まずはお電話ください：  
080-4540-3553（どんぐりS事務局）  
日時：2月8日（水）13:30～16:00  
2月22日（水）13:00～16:00  
会場：「いつだって いま」（高森台6丁目東高森台集会所そば）参加費200円

# 第一回「ハナモモ育樹祭」 市民150人植樹

高森台県有地内の高齢者福祉施設「どんぐりの森」で4日、第一回ハナモモ育樹祭が開かれ、北側斜面750㎡にハナモモの苗木約60本が植栽された。「高森台県有地の活用を提案する市民の会」（愛称、市民の会）が企画したもので、快晴にも恵まれ市民約150人が移植ごてを片手に苗木を植えた＝写真。

「市民の会」は、モモの産地であった春日井市の原風景再現をイメージし、長野県阿智村の「ハナモモの里」をモデルに「ニュータウンにハナモモの咲く桃源郷を創ろう」と活動目標を定め、各方面に呼びかけてきた。育樹祭は春日

私の朝・昼・晩

## セルフ・ネグレクト

セルフ・ネグレクト＝普通の日常生活を営もうとする意欲や生活能力を喪失し、自己の安全や健康が脅かされる状態となること。とくに高齢者に多くみられる。自己放任と意識される。（ニッポニカ出典）

「どんぐりs」が、毎月2回開いている「すまい困りごと相談会」。以前は、ほぼ毎回、何らかの相談が持ち込まれた。しかし最近、問い合わせや来訪者が激減している。困ったことがないわけではない。老朽化した家のこと、住い方の変化、老後の住い方などなど。来訪者がいない相談会場に詰めていると、ふと「セルフ・ネグレクト」という言葉が頭をよぎる。

今まで、こまめに手入れしてきた住宅が、だんだん手抜きが始まり家の内外が荒れ始め、ついにはゴミ屋敷となる。ある限界を越えると、もうどうなってもいいと、まさに日常生活への意欲を喪失してしまう。恐ろしいことに、ニュータウンにも密かにこのような「自己放任」が進みつつある。前兆の一つが相談者激減現象と考えると、開店休業に合点がいく。今後ますます、問題が深刻化し、表面に出にくくなるとしたら、今までのような相談スタイルでは通用しなくなる。この問題は住宅相談に限った事ではなく、暮らし全般の問題として、関連する諸団体との検討会が早急に必要だと思われる。（寺島 靖夫）



井市の後援をいただき、苗木10本もプレゼントされた。伊藤太市長も自ら若木を植えられた。

「市民の会」は、来年度は同施設の西斜面に植樹を計画、さらに徐々に植え付け面積を周辺一帯に増やして、本家阿智村に負けないハナモモ桃源郷を、と意気込んでいる。（寺島靖夫）

## 女性100人委員会と連携 役員会に代表ら招き意見交換

「どんぐりs」役員会は1月29日、「高蔵寺ニュータウン女性100人委員会」（別称・野の花）の飯田知恵子代表らを招き、暮らしやすい活力あるまちづくりのため、今後の連携方法について意見交換を行った。「野の花」の会は、中央台に誰もがいつでも立ち寄れる居場所を設け、踏まれても立ちあがる「野の花」のように社会に役立ちたい女性が中心となり活躍している。関連するイベントは多岐にわたっている。毎月開催のESDフォーラム（まちづくりをテーマにしたNPO、行政、専門家等との学びあい）、中部大との提携によるコーポラスバザール、企業とのサボテン化粧品の開発、独居老人向け食事会、シングルマザーの支援等、女性の目線ならではの思いやりのある活動が目につく。互いに長所を生かし今後も連携を密にし、協力し合い各種事業に取り組んでいきたい。

ユニークな「野の花」の行事が以下の通り催されますので、是非、のぞいてみて下さい。

日時：2月19日（日）13：30～15：00

場所：野の花（中央台7-13-2）

内容：「三味線と朗読の会」（堀内 泰）